

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
URL <http://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp



「よこはま子ども寄り添いブック寄付金」始動!

不要になった本や CD・DVD・ゲームソフトが
貧困など困難を抱える青少年の支援に役立てられます!

総合リユースの販売・買取を行うブックオフコーポレーション株式会社とよこはまユースが連携した新しい寄付金募集事業がスタートしました。

本・CD・DVD・ゲームソフトなど不要になった品物をブックオフが査定を行い、買い取り金額に10%上乗せした金額が「よこはま子ども寄り添いブック寄付金」として、よこはまユースに寄付されます。集まった寄付金は、横浜市内で貧困など困難を抱える青少年の支援に活用させていただきます。

横浜の青少年のために、皆さまからのあたたかいご支援をお待ちしております。

よこはま子ども寄り添いブック寄付金のしくみ



よこはま子ども寄り添いブック寄付金
よこはまユース

貧困など課題を抱える
青少年の支援



◀ ボランティアによる学習支援の様子。
寄付金は学習支援の教材や食の支援にも
充てられる予定です。



※ご希望の方にはメールでの寄付金額のご報告を行っております。
※寄付金控除にお使いいただける領収書の発行をご希望の場合には、
公益財団法人よこはまユース 事業係 (tel.045-662-4170) まで
お問い合わせください。

お申し込み◇回収方法

- よこはまユースホームページから
古本は30点以上、CD・DVD・ゲームソフトは5点以上から受け付けます。 ※インターネットでのお申し込みが難しい場合には、お電話でお問い合わせください。
- 下記の古本回収BOX設置場所では1点から受け付けています。

古本回収BOX設置場所

- 横浜市青少年育成センター
中区住吉町4-42-1 関内ホール地下1階
- 横浜市野島青少年研修センター
金沢区野島町24-2 野島公園内
- 青少年交流・活動支援スペース
中区桜木町1-1 桜木町びおシティ6階

◆ 寄付のお申し込みなど詳しくは

よこはま子ども寄り添いブック寄付金 検索

Thank you for your support.

ありがとうございました!

平成28年8月1日から平成28年10月31日までの寄附金

◆ ユース賛助会費	109件	391,000円
◆ 特定寄附金	合計 58件	58,000円
【内訳】 わくわく・生活体験キャンプ	16件	16,000円
野島クリスマスキャンプ	23件	23,000円
ハートフルスペース	19件	19,000円
◆ 一般寄附金	17件	72,176円

寄附金協力者 (日付順、敬称略)

【団体名】 旭区子ども会育成連絡協議会/神奈川区青少年指導員協議会/川本工業(株)協栄会/古典研究会/(株)産業貿易センター/中央集撰会/特定非営利活動法人 ともに浜をつくる会/西区子ども会育成連絡協議会/西区ジュニアリーダーズクラブ/日之出(株)/ボーイスカウト横浜市連合会/三ツ境幼稚園/横浜子ども会連絡協議会/横浜市PTA連絡協議会/横浜商工会議所/横浜信用金庫/公益社団法人横浜中法人会/横浜野球連盟/ブックオフオンライン

【個人名】 会沢 芳一/青山 幸一/浅野 俊博/安部 きみ子/安部 萬里子/荒井 清/荒井 総平/飯島 幹夫/石井 政光/石川 英治/市原 政喜/犬塚 善一郎/岩倉 憲男/岩田 聡/榎本 文夫/大澤 正之/大槻 繁美/加藤 信郎/加藤 仁美/桐原 重孝/熊井 憲一/倉澤 達雄/黒川 靖久/源生 忠純/三枝木 伸/佐藤 克徳/佐藤 雅亮/澤出 吉秀/椎野 雅子/篠崎 浩子/下野坊 和子/鈴木 千代江/関野 修一/高橋 明/武久美子/田島 一郎/田野井 伸泰/玉井 廣道/出口 晴基/手塚 潤悟/中島 尚樹/中村 輝次/中山 里美/沼尾 実/野並 直文/野村 啓子/橋本 康正/橋本 義昭/濱倉 公子/早川 雅子/美藤 愛/藤島 栄子/松井 孝子/松井 祐次郎/三池 明/三橋 ツネ/安田 幸世/安田 修二/和知 典夫

● 寄附金控除が受けられます

よこはまユースへの寄附金(ユース賛助会費や事業指定寄附金。*募金箱は対象外)は、税法上の優遇措置が受けられます。

所得税の還付申告の際に、1月下旬頃にお送りする「寄附金受領証明書」を添付し、管轄の税務署へご提出ください。





▲「演っ子寄席」おなじみの権太楼師匠

青少年育成寄附金募集事業

第56回 爆笑! 演っ子寄席

— ご来場、ありがとうございました —

(11月18日 関内ホール)

今回で56回を迎えた本事業は、青少年が健やかに成長するための事業を展開する寄附金の募集を目的としています。今年も、実行委員や出演者の皆さま方をはじめ多くのご支援・ご協力により実施することができ、当日は約800人ものお客様に楽しんでいただきました。仲入りや終演後にご協力いただきました募金や寄附は、青少年を支援する活動や事業に活用させていただきます。



活動レポート

よこはまユース (本部事業)

高校内で「ようこそカフェ」をオープン!

横浜総合高校内のフリースペースで、生徒の交流や相談を行う「カフェ」をオープンしました。

この取り組みは、高校生の中退防止や社会的自立の支援を目的としています。お菓子や飲み物は無料。ゆっくりお茶を飲みながら、進路や就職などの将来の悩み、



友人や家族など人間関係の悩みについて大学生ボランティアや若者支援の専門スタッフに気軽に相談できる場所を提供しています。カフェで提供のお菓子や飲み物の寄付も募っています。

◆寄付の申込み・お問い合わせ 事業係 tel.045-662-4170

横浜市青少年育成センター

やる気を引き出す! 「コーチング入門講座」

(10月19日・26日)

相手のやる気や能力を引き出すことは、なかなか難しいものです。

本講座は、「基礎を学ぶ」「実践してみる」「結果を持ち寄ってブラッシュアップを行う」という三部構成とし、毎回ロールプレイを行うことで、コーチングの手法を体得しました。参加者は、実際に活用できる場面を想定しながら受講できたようで「コーチング=指導することだと思っていたが、相手自身に答えを考えさせ、



気付かせることだと理解できた」と感想が寄せられました。



放課後キッズクラブ

浦島小放課後キッズクラブ「紙アプリで遊ぼう! ~紙アクアリウム&紙レーサー~

(10月29日)

「紙アプリ」というパソコンソフトを用いたイベントを行いました。このアプリは、用紙に描いた絵をデータに読み込み、画面の中で遊ぶことができるものです。その中の一つ、「紙アクアリウム」は水族館の水槽に見立てた画面の中に児童が描いた魚等の絵を泳がせるものです。また「紙レーサー」は児童が描いたレースカー4台でレースを行います。児童たちは自分の描いた絵が自由に動き出すのを見て大喜びでした!



横浜市野島青少年研修センター

秘密基地づくりキャンプ in のじま

(10月8日・9日)

小学3~6年生の参加者たちが、1日目はダンボール、2日目は木材やベニヤ板などの異なる材料を使用して2種類の秘密基地を作りました。最初は緊張した様子でしたが、すぐに打ち解けてイキイキとした表情に変わりました。仲間と楽しく過ごすために気を付けたことは?と聞いてみると、「人の意見を聞くこと」「手伝ってあげること」「一緒にやろう、と声をかけること」といった意見が返ってきました。このキャンプを通して、秘密基地を創り上げた時の達成感だけでなく、思いやりの気持ちやたくさんの友達を見つけてくれたようです。



● 編集後記 ● 縁起物とされる「松竹梅」は、東洋画の画題の一つで、中国では「歳寒三友」と呼ばれました。松が縁起物とされたのは平安時代、竹は室町時代から、梅は江戸時代からと、時代にはばらつきがあります。さらに松は特上、竹は上、並みは梅と、それぞれ等級が割り振られるようになったのもこの時代の順番が元になっていると言われています。(畔)